

日特建設株式会社

本店
〒104-0061 東京都中央区銀座8-14-14
TEL.03(3542)9111(大代表) FAX.03(3542)9133

札幌支店
〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東4-2-20
TEL.011(801)3611(代)
FAX.011(801)3633

旭川営業所
TEL.0166(34)1204
函館営業所
TEL.0138(35)7010
道東営業所
TEL.0155(24)5600

東北支店
〒982-0036 仙台市太白区富沢南1-18-8
TEL.022(243)4439(代)
FAX.022(243)4438

青森営業所
TEL.017(773)7275
盛岡営業所
TEL.019(663)6100
秋田営業所
TEL.018(863)3035
山形営業所
TEL.023(641)5988
福島営業所
TEL.024(536)1800

東京支店
〒104-0044 東京都中央区明石町13-18
TEL.03(3541)6221(代)
FAX.03(3541)6373

長野営業所
TEL.026(228)6761
群馬営業所
TEL.027(253)2305
宇都宮営業所
TEL.028(637)3567
水戸営業所
TEL.029(246)2700
埼玉営業所
TEL.048(647)6981
千葉営業所
TEL.043(225)8023
横浜営業所
TEL.045(450)5553

北陸支店
〒950-0864 新潟市東区紫竹5-26-1
TEL.025(241)2234(代)
FAX.025(241)2229

佐渡営業所
TEL.0259(55)2332
上越営業所
TEL.0255(44)4750
富山営業所
TEL.076(452)2766
金沢営業所
TEL.076(240)0111
福井営業所
TEL.0776(38)6499

名古屋支店
〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-21-4
TEL.052(571)2316(代)
FAX.052(571)1616

岐阜営業所
TEL.058(275)0206
静岡営業所
TEL.054(202)2090
三重営業所
TEL.059(225)6575

大阪支店
〒530-0028 大阪市北区万才町4-12
TEL.06(6312)4621(代)
FAX.06(6312)4624

京滋営業所
TEL.077(531)1820
神戸営業所
TEL.078(577)2570
奈良営業所
TEL.0747(22)5571
高松営業所
TEL.087(840)4151
岡山営業所
TEL.089(946)0771
高知営業所
TEL.088(861)4171

広島支店
〒730-0803 広島市中区広瀬北町3-11
TEL.082(231)2109(代)
FAX.082(231)2310

鳥取営業所
TEL.0857(31)0823
松江営業所
TEL.0852(21)7317
岡山営業所
TEL.086(226)1429
山口営業所
TEL.0839(25)4258

九州支店
〒812-0027 福岡市博多区下川端町1-3
TEL.092(271)6461(代)
FAX.092(271)6482

佐賀営業所
TEL.0952(20)5111
長崎営業所
TEL.0957(36)5001
熊本営業所
TEL.096(382)1639
大分営業所
TEL.097(552)4222
宮崎営業所
TEL.0985(23)1406
鹿児島営業所
TEL.099(227)0901
沖縄営業所
TEL.098(861)0739

直轄グラウト部
〒104-0044 東京都中央区明石町13-18
TEL.03(3542)9131(代)
FAX.03(3546)2183

試験所
埼玉試験所 TEL.0480(85)2755
猿島総合センター TEL.0280(88)7661

お問い合わせ
本店技術本部、事業本部、または最寄りの支店、営業所へお問い合わせください。
技術本部 TEL.03(3542)9110 事業本部 TEL.03(3542)9120
E-mail mag@nittoc.co.jp
URL http://www.nittoc.co.jp

NITTOC

NITTOC

森林表土を利用した生態系の保全

自生種回復緑化工法

NETIS No.CG-080004-V
ARIC農業農村整備新技術候補No.374

自生種回復緑化工法

自生種回復緑化工法は、埋土種子を含んだ森林表土（落葉層を含んだA0層およびA層）を容易に採取する技術と、耐浸食性の高い法面緑化工法とを組み合わせ、生物多様性の保全に対応した自然回復型の緑化工法です。埋土種子を利用することで、従来から多用されてきた外来植物などの他地域からの植物材料を使用せず、地域の植生を回復させることができます。



表土

一般的に森林土壌の最上層にある土壌のことをいい、植物の生育に必要な養分を含む土壌に加えて、植物の種子や落葉、微生物等によって分解された有機物等を含んでいます。

自生種回復緑化工法では、落葉・落枝を含めて表土を集積・改良し、植生基盤として利用します。

埋土種子

土の中で発芽能力を保持したまま埋もれている種子のことです。ものによっては、何十年も土の中で発芽能力を保持するものもあります。

自生種回復緑化工法による緑化では、埋土種子の発芽に期待しています。

←埋土種子を含む表土

表土集積

圧縮空気を利用したリターショベルで表面の落葉・落枝、表土をほぐし、集積します。
※大面積や平地ではバックホウ、小規模であればジョレンやクマデの利用も可能です。

←表土集積作業

表土改良

リターミキサーを利用して表土を改良し、吹付や搬送に適した土壌へ改良します。

←リターミキサーによる表土改良例
(左：改良後、右：改良前(落葉混じり))

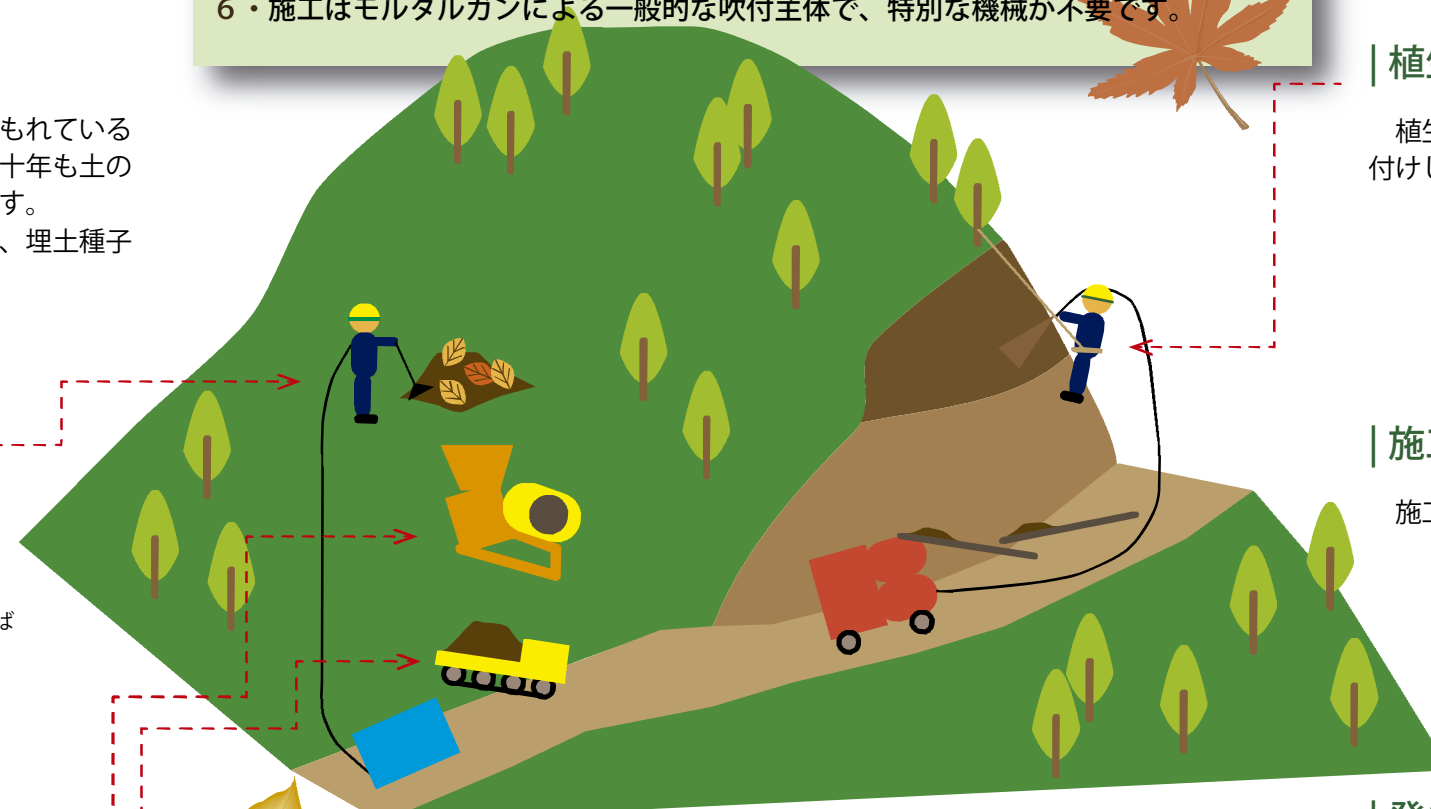
表土運搬

不整地運搬車などで収集した表土を、プラントや保管場所まで運搬します。

←表土運搬作業

6つの特長

- 1・森林表土中に含まれる埋土種子を使用し、外来植物を使用しません。
- 2・埋土種子量が多い、落葉・落枝を含む森林表土最上部層を利用できます。
- 3・採取条件に合わせた表土採取システムで、容易に森林表土を採取できます。
- 4・森林表土は吹付に適した土壌構造へ改良、吹付時のホース閉塞がありません。
- 5・植生工には、建設発生土を利用したリサイクル緑化工法の選定も可能です。
- 6・施工はモルタルガンによる一般的な吹付主体で、特別な機械が不要です。



緑化基礎工

植生工安定のため、金網などを敷設します。

植生工

植生基盤材を吹き付けします。

施工事例

施工後1年経過

発生した主な木本植物

・キリ

・アカメガシワ

2・緑化工



標準的な基盤材配合 (1m³ 当り)

区分	植生基盤材タイプ		客土吹付タイプ (盛土法面用)	
	(材料)	(数量)	(材料)	(数量)
生育基盤材	リターシード	200 l	リターシード	200 l
	(改良済み表土)		(改良済み表土)	
	植生基盤材	1800 l	細粒バーク	1000 l
養生材	—	—	木質ファイバー	40kg
肥料	緩効性肥料	2kg	緩効性肥料	2kg
接合材	高分子系樹脂 (粉末マルチタイプ)	1 ~ 2kg	高分子系樹脂 (液体)	6kg
水	清水	適量	清水	適量

1・森林表土採取工

